**現場の週報から（令和4年7月4日～7月31日）**

**【7月4日～7月10日】**

■介護老人保健施設さくらの杜：佐藤恵美子さん

・カレーライス作りイベント・プリン作りイベント・パフェ作りイベントなど「食」のイベントがありました。おやつには、大人気のアイスクリームがでたり、おいしくお楽しみながら皆さん食べられていました。

■デイサービスみやぎの杜：髙橋美也子さん

・先週は体験利用の方が２名いらっしゃいました。バタバタと忙しい中でも嫌な顔せずに受け入れてくれた職員さんたちに感謝します。お二人ともとても素敵な方で・・・古民家的なのがウリのデイは果たして気に入ってもらえるのか心配(失礼)ですが、その日のうちにできるだけ体験利用の様子を担当のケアマネさんにお伝えするように心がけています。素敵な方との出会いで私たちも刺激されてワクワクドキドキ仕事をしています。

■ケアホームさくらの杜：志賀千春さん

・7日、七夕会をしました。スタッフが玄関先に笹の葉を準備してくれて、皆さんで飾りを作り、当日は短冊に願い事を書きました。お一人お一人、想い想いの言葉を短冊に書き、飾りました。担当スタッフが他のスタッフに浴衣を着てもらいたいと持参してくれて、着付けて下さり、夏行事をより一層盛り上げてくれました。また、それを見られたご利用者さんが、「私も着たい。」と着られ、楽しく過ごされていました。こども園からは、今年も可愛い織姫と彦星の飾りをもらい、玄関先に一緒に飾らせてもらいました。お昼には、そうめんを頂き、夏の行事を楽しまれています。

■グループホームゆめみの杜：佐藤葉子さん

・柴田町の社協で毎月行われている【サロンコンサート】へ行ってきました。今月は、トーンチャイムという楽器の演奏会でした。久しぶりに地域の方と交流し、また、お知り合いの方にも遭遇し有意義な時間となったようでした。

■グループホームななみの杜：澤村直子さん

・金曜日昼食前、突然の元安倍総理の銃弾事件が流れ、利用者さんも「え？！」とかなり驚かれていました。その後もワイドショーを見ながら「日本も危なくなったんだ」「安倍さんも長くやりすぎたからよく思っていない人も多いかもしれないね」「安倍さん助かるのかしら？」「福島も（なぜか福島）も大変ね」等、それぞれ思い思いに話されていました。「後ろから打たれたんだってよ」「犯人はもう捕まったんだって」と情報を職員に教えてくれる方もいて、終始同じ話題で職員と利用者さんがその時間を共有できました。

■グループホームあおばの杜：関内利奈さん

・７／８お誕生日を迎えられたM.Yさん。お嫁さん・お孫さんが面会に来られた他、県外に住まれているお孫さんから素敵なお花とメッセージカードが届きました。涙を流され、嬉しそうにメッセージカードや花束を見つめられておりました。おやつの時間には、感染対策を行いながらご入居者とスタッフで手作りケーキとメッセージカードをお渡しさせていただき、お祝い。「美味しい」と笑顔がみられました。フォトレターを作り、ご家族にご報告したいと思っております。

■さくらデイサービスセンター：三邊純さん

・7月7日七夕イベントでうちわ作りを行いました。色紙で朝顔と金魚を形取った物を職員が準備し、うちわの形に切り取りした用紙に貼る作業を行いました。参加されたご利用者の中には普段のレクリエーションに消極的な方も参加されており、みなさんそれぞれ楽しそうにうちわを完成させていました。うちわは自宅に持ち帰っていただきました。昼食はカレーライスに煮た人参と卵焼きを星型に型を取りトッピングして召し上がっていただきました。この日初めてデイサービスをご利用された方が自宅に戻られるとご家族様より「今日初日にイベントに参加したんですね。ありがとうございます。」と感激されていました。

■いずみの杜診療所：國吉明さん

〇5日はご利用者のHさんご本人の希望でもあり、ケアプランの目標としてもあがっていた「バスに乗っての外出」をリハビリの外出訓練として実施。これまで練習も重ね、無事に以前よく行かれた泉中央までスタッフと出かける事が出来ました。デイケアに通われる仲良しのご利用者さんにお土産も買われ「今度渡そうと思うの」と嬉しそうに話されておりました。

〇６日はカメラ好きのご利用者さん、スタッフとでそれぞれ自慢のカメラを持って資福寺へ紫陽花の撮影へ。霧雨降るなかでしたが、雨露に濡れる紫陽花と竹林が季節を感じさせ趣味活動を通じて皆さん楽しまれたようです。

〇７日は誕生日のご利用者さんも複数おり、仲の良いグループでかわまちテラスへ外出に出かけております。今回初めて外出イベントに参加されたご利用者さんもおりデイケアに戻られてからも「本当に楽しかった」とお話されておりました。これからもご利用者さんの想いに寄り添いながら一緒に楽しんでいければと思います。

■介護老人保健施設希望の杜通所リハビリテーション：千葉一也さん

・8日（金）にご利用者にのMさん、落合さんと第2弾Mさんおすすめの”とんかつ信ちゃん”に行ってきました。大きなとんかつでとても食べ応えのある男性にお勧めのお店です。定期的に食べに行く約束をしているので次回も楽しみにしています。



■グループホームみやぎの杜：鈴木篤史さん

・７日にかもめユニットで午前、午後に分けて近くのドライブに行ってきました。久しぶりのお出掛けでした。帰ってくると「天気も良くて気持ち良かったよ」と話された方もいました。近くのドライブではありましたが、久しぶりのお出掛けが出来てご利用者方には良い気分転換になりました。中々天気が安定しない日々が続いていますが今後もこのような機会を作りたいと思います。

・つばめユニットでご利用者の髪の毛の毛染めを行いました。今年で９９歳になられる方です。元々見た目がお若い方ですが、毛染めが終わると更に若々しくなりました。おいくつになられてもオシャレをすることは良いことだなと思いました。

■グループホームはごうの杜：大﨑美智子さん

・わたしが希望の杜のコホートに入っている間、シフト変更を快諾して下さり、２名体制にて現場を守って下さっているこがねユニットのみなさん。お買い物や送迎等を代行して下さったりと、こがねユニットをサポートして下さっているわかばユニットのみなさん。両ユニットのチームワームに支えられて、今コホートに入らせていただいていることに感謝すると共に、支えて下さるみなさんが居るからこそ、こうしてコホートに集中して入ることができているのだと改めて考えさせられました。本当に頼もしい、はごうのみなさんに感謝です。そして、希望の杜のみなさんにも、温かい激励の言葉やご厚意をいただき、沢山の方々のサポートに感謝です。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・今週は7日に七夕の日でスタッフが自宅から笹を持参。皆さんで願い事を書かれていました。



■グループホームゆかりの杜：加藤知佐さん

・七夕にちなんで１階なつめユニットでは七夕特別イベント食をご用意しています。朝から調理担当の土井さんが心をこめて作ってくださいました。皆さま食の進みも良く「私まだ食べてないよ」等おかわりのご要望もありました。

■グループホームゆづるの杜：高澤智子さん

・七夕ということで、皆さんに短冊に願い事を書いていただきました。健康を願う方、みんなと仲良く過ごせますようにと書かれた方、充実した日々をおくれますようにと書かれた方、皆さんの願いが叶うようにお手伝いさせていただきたいと思います。

・小規模の畑よりいただいたアジサイとKさんのお宅からいただいたアジサイをテーブルに飾ると、「きれいね～。アジサイって挿し木できるんだよね？」という話になりました。きれいなアジサイを増やせるか、挿し木に挑戦中です。

■介護老人保健施設いずみの杜：菅原健さん

・7/8～食事と水分がほとんど取れていないということで杜の家みやぎから老健いずみへとTさんの利用が決まりました。本人の希望は住み慣れた地域や自宅に戻ること。老健職員も希望を叶えられるように全力で関わっていますし、どうしたら食べて頂けるか模索しています。なかなかジョークの利いた面白いTさんで北海道出身の話をして下さったり無類の猫好きということで動画を見ながら良い表情をされていました。また元気な姿で杜の家みやぎに戻ってほしい！頂いたバトンを戻していきたいと思っています。

■ショートステイわかなの杜：齋藤匡晴さん

・7日にロングでご利用されていたＳさんと、うみの杜水族館へお出かけに行きました。珍しい魚や大きな亀、イルカショーを間近で見て驚いた様子で喜んでくださいました！昼食時も天ぷら蕎麦を頼まれましたが、お蕎麦よりもフライドポテトを頬張っており、「美味しい！」と味わっておりました。7日当日にＧＨ入所が決まっており、限られた時間の中でのイベントでした。

Ｓさんはとても優しい方でいつも率先してお手伝いして下さります。同席の方に対して「お茶を出そうと思って・・・」と自ら立ち上がる働き者です。

最後まで、職員にお蕎麦やてんぷらを「これ食べな！」と気遣って頂くＳさんがとても印象的でした。

イベントを企画してくれた後輩職員そしてＳＳわかなのアイドルＳさんのおかげで幸せな一日を過ごすことができました。

■特別養護老人ホームふたばの杜：渡邊麻衣子さん

・7日に2階のショートステイの方たちと特養の方々合同で「七夕の会」を行っております。皆さんに短冊に願いを書いていただき、飾りも一緒に作成しております。仙台の七夕は８月なので、来月まで皆さんの願い事をどんどん短冊に書いていただこうと思います。

・３階のYさんの誕生日をお祝いしました。７月の誕生日の方が４人いるため、合同の誕生会は後日に行う予定です。大きなケーキをYさんはペロリと召しあがっておられました。

■杜の家いちい：名取直保美さん

・先月の職員ミーティングで「利用者さんの声を伺い、個別支援を実施していこう」という案があり、利用者さんから「あじさい寺（資福寺）に行きたい」という声があり、ドライブで行ってまいりました。ちょうどお誕生日の方もいて「とても最高のお誕生日になりました」と感激の涙を流され、皆さん楽しまれていらっしゃいました。

■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・参院選の投票のため、ご利用者さん3名と市役所へ行きました。お一人は、歩行が少し心配な方だったので

、付き添いを申し出ましたが、原則、付き添いの方は中に入れないということで、選挙管理員委員らしき方が、そのご利用差さんに最期まで付き添って下さいました。無事、投票を終え帰ってきました。

■杜の家みやぎ：佐藤新平さん

・7/10(日)ご利用者さんと一緒に、プランターに水やりを行いました。1ヵ月前に植えた、ミニトマトに実が出来ており、収穫が楽しみとの声を頂きました。収穫までもう少し、皆さんで収穫できるまで育てていきたいと思います。

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・今週は七夕イベントを行っております。皆さんに短冊に願い事書いて頂きました。健康やコロナ終息の願いが多く見られました。日頃の生活に制限がかかる中、女性の皆さんには浴衣を着て頂き、男性の皆さんには甚平を着て頂きました。「何だかお祭りに来たみたい！」「いつぶりに浴衣何て着るのかしら」と皆さんの心がおどる様子が目に見える様でした。東京音頭の歌に合わせて踊る方、綺麗な浴衣姿を仲の良い方と写真に収めようと声を掛ける方、楽しげな雰囲気に包まれるホールに温かい気持ちになりました。

■グループホームけやき：渡邉江利子さん

・先日ご入居様と一緒に七夕飾りを作りみんなでお願い事を短冊に書きました。「願い事ないんだけどね」と言われながらも「健康でいられますように」などお願いごとを言われておられました。

**【7月11日～7月17日】**

■グループホームみやぎの杜：鈴木篤史さん

・15日につばめユニットで小さな規模ではありますが、夏祭りを開催しました。やきそばやフランクフルトをホットプレートで作り、音楽をかけてスイカ割りをご利用者と一緒に楽しみました。おやつの時間にはチョコバナナを作り振る舞うと皆さん喜んで食べられていました。コロナの警戒レベルも上がり、県内でも感染の拡大が続いています。これからも感染対策を考えた上でご利用者と一緒に楽しめることを考えていきたいと思います。

■杜の家みやぎ：佐藤新平さん

・7/14(木)に7月生まれの方の誕生会を行っております。写真入りのアルバムをプレゼントし、楽しい時間を過ごす事ができました。

■介護老人保健施設いずみの杜：斉藤慎一さん

・7月14日、3階に入所されているKさんが久々にご自宅に行くことができました。到着するなり、お孫さんが「おばあちゃんおかえりー」と温かく出迎えて下さいました。お孫さんと仲良く遊んでいる姿や、会いに来てくれた姉妹と旅行の思い出話・テレビを観ながら世間話をする姿、昔Yさんが作った押し花や木彫りした作品など、今まで知らなかったYさんを知ることが出来ました。何より、Yさんの本当に嬉しそうな笑顔を見る事が出来てとても嬉しく思います。今後も時機を見て外出の機会を作ることが出来ればと思います。

■ショートステイみはるの杜：原田伸孝さん

・7/10よりコホートを継続中。みはるの杜の職員4名、さらに利用者さん5名が陽性となり、他事業所から多くの職員さんが応援に入られています。申し訳ない思いと感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございます。居室対応を前提に対応をしていますが、やはりフロアに出てこられる利用者さん。当たり前の行動だと思います。「お風呂に入れてあげたい」「ホールでのんびり過ごして頂きたい」コホート対応の職員が話されていました。速くそれぞれの日常戻れるようまずは感染対策を徹底していきたいと思います。

■杜の家いちい：名取直保美さん

・7/16にコロナ陽性の利用者が確認され、すぐにコホートとなりました。7/13より同居家族の発熱の報告があり、デイサービスをお休み頂きました。その後も家族さんとこまめに状況確認しており、都度千坂Dへ報告し指示を仰いで備えを行ってきました。コホートが開始されてからも、大きく混乱する事なく、自施設職員でコホート、訪問対応を実施しております。7/19のコホート終了まで気を抜かずしっかりと努めていきたいと思います。

■グループホームゆづるの杜：高澤智子さん

・11日はKさんのお誕生日でした。ご本人にどのようにお祝いしてほしいかと伺ったところ、「みんなにウナギをふるまいたい」とお話があったので、昼食にみんなでウナギを食べてお祝いしました。ご本人も皆さんも喜ばれておりました。

・常時換気のために開けている排煙口には網戸がなく、虫が入ってきてしまうのが去年からの課題でした。ちょっと見た目はいまいちですが、張替用の網戸の網を購入し、排煙口のところに貼って対応しています。今のところ、虫の侵入が減ったので、この夏はこれで様子をみたいと思います。

■ケアホームさくらの杜：志賀千春さん

・13日、外出予定でしたが、変更しミスドにドーナッツを買いに行き、おやつに食べました。皆さんそれぞれ食べたいドーナッツを聞き取りし購入。久しぶりのドーナッツはとても美味しかったとのことでした。

■グループホームあおばの杜：関内利奈さん

・高際香澄さん、１６日よりショートステイみはるの杜へコホート応援に行かれております。初めて声が掛かり、不安が強いなか「私が力になれるなら」と言ってくださいました。彼女に感謝の思いと、経験した学びを現場へ周知し日々の感染対策の大切さやコーホート中はどんな状況となるのか全員で学びの機会にしていけたらと思っております。

現在、７／５にリフトが導入され使用しております。下肢筋力低下に伴い、２人介助対応でも浴槽を跨げず入れないご入居者がいらっしゃいました。リフトを使用することで、湯船にゆっくり入っていただけて「気持ちいいね」「まだ、上がんないよ」と気持ちよさそうに入られているご様子に嬉しい気持ちになります。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・今週はコロナも増え始めており雨が続き出掛けることに怖さが増している週です。体を動かしたいみなさんでボーリングを行いました。真剣な表情が見れました。

■グループホームゆかりの杜：加藤知佐さん

・「ローマの休日は３～４回名画座に観に行った」と嬉しそうに話されるSさん。タブレットで映画を一緒に観ながらご主人が大好きな俳優に似ていること、当時の友人からも何度も言われていたこと等嬉しそうに話されます。お話ししているうちにうとうとされてきます。眠れぬ夜は一緒に映画鑑賞することも増えてきました。若い職員は自分も話しで盛り上がりたいから休日に映画を観ると張り切っています。

■グループホームはるかの杜：木村優さん

・7/13Hさん面会：お仕事をされていた時の部下の方が3年ぶりに面会に来てくださいました。優しく、時に厳しく、人情身のある上司だったと話されておりました。Hさんも声を出すことはできませんでしたが、うなずいたりと、いつもとはまた違った表情をされHさんのお人柄を改めて知るとともに、様々なことを考えさせられました。

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・今週から新しくご利用になられた方がいらっしゃいます。言葉が出にくかったり、会話がかみ合わないことが多くコミュニケーションを取るのが難しい方ですが、こちらの話している事を理解してくださり、覚えている事はきちんと覚えておられます。体験から自宅へ帰られた時に奥様が感想を聞くと、男性のご利用者と話しが出来たことが嬉しかった、何だか良かったなあと話して下さったという事です。コロナ禍で人との交流が制限される中、新しい出会いや交流が印象に残ったというお話は大変嬉しく、社会参画や人との繋がりの場としての役割を改めて感じました。

■みはるの杜診療所：庄司崇浩さん

・10日～15日までデイケア営業自粛。16日～営業再開。6日間営業自粛していましたが、大きなトラブルはありませんでした。ご家族や、ケアマネからは「頑張って下さい」と励ましのメッセージをたくさんいただきました。

**【7月18日～7月24日】**

■ショートステイみはるの杜：原田伸孝さん

・7/１０～ショートステイみはるの杜内にて療養されていた方4名について、７/２３無事に療養解除を迎えました。非該当のご利用者に関しては当日一足先に12日ぶりの入浴の機会を楽しんでいただきました。どのご利用者も久しぶりの入浴ということで、ゆっくりと心ゆくまで有意義な時間を過ごしていただきました。お風呂を待ち望んでいたご利用者の方も、満足していただけたようです。

直接応援や沢山の方のご協力もあって今日という日を迎えることができました。本当に厚いご支援ありがとうございました。心より感謝申し上げます。7/２５からは通常営業再開です。感染対策の遵守に努めながら、活気に満ちた日常が再開できる喜びを今はただただ噛みしめて、ご利用者との関わりを楽しんで行きたいと思います。

■グループホームかぐらの杜：半澤克也さん

・今回、コホートにて清山会の皆さんの応援や支援があり大変感謝しております。コホート対応が決まり迅速に準備から体制が整うまでに迅速な対応を頂き、GHかぐらのスタッフも大変心強く、安心できました。そして、何よりお暮しになるお年寄りが安心でき守られたこと。ご家族も安心され沢山の労いの言葉をいただきました。

■介護老人保健施設いずみの杜：佐藤佑典さん

・雨の日が続いてましたが、晴れ間を狙って老健周りをお散歩してきました。久々の散歩とあってか「体がなまってるなぁ」「体力不足だ」と笑いながら話されておりました。

また室内で何か出来ないかと思い、かき氷作りも開催しました。普段水分がなかなか進まない皆さんもペロッと召し上がってました。これからも季節の風物詩を大切にして、一緒に楽しんでいきたいと思います。

■介護老人保健施設さくらの杜通所リハビリテーション：丹野怜さん

・23日、あんみつを食べたいという声が聞かれていたので今回はあんみつ作りをしました。豆腐白玉をご利用者と一緒に作り、盛り付けも手伝っていただき、あっという間に出来上がりました。手際の良さにはいつも関心させられます。その後、皆であんみつを食べ「おいしかった。また食べたい。」という声が聞かれました。糖尿病の方も今日だけは食べたいということで糖分をコントロールしながら美味しそうにあんみつを召し上がっていました。

■杜の家みやぎ：佐藤新平さん

・7/20(水)にご利用者さんから、いつも行っている体操ではなく、他の少し変わった体操をしたいとの声があり、いつもの座って行っていた体操ではなく、畳に横になりながら体操を行っていきました。お一人暮らしの方も多く、コロナ禍で外出が制限され、身体を動かす機会が減ってきている為、今後もご利用者の意向を聞きながら、実施できればと思います。

■杜の家ふたば：平澤文さん

・７月２０日にプチ夏祭りを開催。皆さんでスイカを囲み、スイカ割りを実施しています。男性陣が代わるがわるチャレンジし、無事にスイカが割れたところで、会食会となりました。今回スイカの値段が高かったため１個でのスイカ割りでしたが、また来月もしたいという声も聞かれております。

■グループホームあおばの杜：関内利奈さん

・8月の設えをご入居者と一緒に、どのようなものにしたいか相談しながら日中に作成を両ユニット進めております。私達職員が決めるのではなく、室内においてもどのようにして季節を感じられたいかお1人お1人で違うため

一緒に考え、みなさんが思う夏を感じていただけたらと思います。

■グループホームはごうの杜：大﨑美智子さん

・はごうの玄関先に植えてあるキュウリの実り具合を、Kさんと一緒に確認に行った際に「ありゃ～。こんなにめんこいキュウリは初めて見るね～。もう少し立派に成長するのを待ちましょうね～」と、赤ちゃんキュウリに優しく語りかけておられる姿を拝見し、普段の生活の中で待つことが難しいと思ってしまう自分が、ものすごくちっぽけに感じる瞬間でもありました。理由はその時々で違いますが、待つことを疎かにせず歩んでいきたいと思います。

■グループホームゆづるの杜：高澤智子さん

・１７日に今後についてのお話をご家族と先生とで行った利男さんですが、１９日の日付が変わってすぐ、訪室した際に呼吸が停止していました。１８日の昼間は食欲もあり、もしかしたら回復して元気になるんじゃないか？と思うほどでした。数日前まで自分の足でトイレまで歩かれてました。呼吸が苦しそうな時でも「ありがとう」「ごめんな」と言ってくださっていました。夜中に連絡をした際に、娘さんも「昨日は元気だったのに、信じられない」と話されていましたが、翌日、来所された際には、落ち着かれていました。娘さんはちょっと個性的な方で、なかなかコミュニケーションが難しいときもありましたが、最近は信頼関係が築けてきていると感じていました。お通夜に参列させていただいた際に「Tさんは幸せだったと思う。これからは家にいてくれるからさみしくない」と話してくださいました。遺影がゆづるから毎月のお手紙で送付させていただいていた、私たちが見慣れた姿で笑顔のTさんの写真だったことがちょっとうれしかったです。想像したよりも早いお別れとなってしまいましたが、最期までTさんらしく過ごしていただけたのではないかと思います。

■デイサービスみやぎの杜：髙橋美也子さん

・コロナ感染者がまた急激に増え、一日２千人、と報告を聞くたびに利用者さんと『わーー、怖いね。』と話しています。　先日食後に『あー、お腹いっぱい。なんか甘いもの食べたいわ』とお話をされたYさん。この方、すごくチャーミングで、そして自由。まさに少女のような天真爛漫さをお持ちの方です。年を取ったり、運転が出来なくなったり、出来ない事が増え、自由も制限される時代ですが。。。『なんか甘いもの食べたいな』の声をなんとかカタチに出来たらいいなぁ。と思っています。(調べたら、一万円からなら配達します、というところがありましたが・・・)　『少しぐらいお金払ったって、あと先短いんだから、食べたいものを食べたい！！』と。　美味しい食べ物を食べて、たくさん笑って、元気で長生きしてほしいです。

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・ゆかりの杜からミミズクチャレンジに参加している職員さんがおります。今月から、ご自身で考えたアンケートを職員に取り、「人在育成」とは？を皆で考え始めております。立場などあってないようなものですが、役職があるか、常勤かパートか、やはり見えない壁のようなものがあります。「私の立場でおこがましい・・・」とおもっていても口には出さないでいる想いがそれぞれあります。アンケートでは口に出しては言わない本音がいろいろと書いてあったようです。みんなの意見を多く取り入れた、取り組みになっていけたらと思います。

■グループホームゆかりの杜：加藤知佐さん

・ご利用者に可能な限りマスク着用していただいています。いつの間にか顎マスクになっていたり床に落ちていたりと難しい状況ですが、エアロゾルや熱中症に注意しながら換気も適宜行っています。ご利用者の４回目コロナワクチン摂取も終了しました。第七波は気を引きしめて乗り切っていきます。

■グループホームいずみの杜：大﨑雅之さん

・今週はご家族の面会が多くあり、ご家族との時間を過ごされておりました。また、ホームの玄関先に実ったブラックベリーを収穫し、手作りのジャムを作りました。後日パンケーキを焼いた際に手作りジャムを一杯に塗り、みんなで美味しく頂きました。

**【7月25日～7月31日】**

■ケアホームさくらの杜：志賀千春さん

・ケアホームの前の畑の野菜が、少しずつですが収穫できるようになりました。最近は、ミニトマトを収穫し、料理に使用しています。

■特別養護老人ホームふたばの杜：渡邊麻衣子さん

・29日に、3階の7月誕生日の方々のお祝いをお昼に行いました。お好きなお寿司やノンアルビールを準備し、皆さんや担当スタッフで楽しいひとときを過ごしました。Yさんは「食べやすい大きさのお寿司だった」と後日感想を伺いました。今後も誕生日の方に食べたいものを伺いながら開催していきたいと思います。

・30日に2階、3階の方々合同で敷地内で花火を行っております。手持ち花火をしたり、ふきあげ花火をみたりと夏を感じる日になりました。まだまだ夏は長いので、皆さんに夏を感じる日（散歩や日光浴などでも）を感じてもらえたらと思います。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・家族会が中止になり急遽、おやつバイキングの企画をしました。たくさん並んだおやつにこんなにいいの？と話しながらも選びいつもと違ったおやつの時間を過ごしました。

■グループホームみやぎの杜：鈴木篤史さん

・７月２９日に８５歳の誕生日を迎えたご利用者がいます。ささやかですが、ユニットで誕生日会を開催しました。プリンにクリームでデコレーションした手作りのケーキを作って皆で美味しく頂きました。

■グループホームあおばの杜：関内利奈さん

・天候の良い日があり、「たまには、階段じゃなくて外に行ってみたいね」とご入居者のご希望があり

階段昇降ではなく敷地内を歩かれ下肢筋力維持の運動をされております。1対1での対話の時間でもあり、ご入居者の想いにより寄り添える几帳面な瞬間だと感じます。

■介護老人保健施設いずみの杜：菅原健さん

・今週は老健いずみの杜に取材が入りました。日々の感染対策やご本人の様子をお伝えできることは私たちの今後の励みになります。ご本人からは「何をしゃべりましょう」「緊張しました～」とお話されていました。より良い日常がこれからも送れるように対話からヒントを得ていこうと思っています。

■さくらデイサービスセンター：三邉純さん

・今月13日に数カ月ぶりにデイサービスに利用再開されたご利用者がいます。しかしその後ショートステイでお休みされ7月30日に再び利用再開されました。体調に変化が多い為同じテーブル席のご利用者は何かと気遣われています。他のテーブル席でも休んだご利用者が居ると「今日は休みなの？体調悪いのかしら」と心配する声が聞こえます。同じテーブルのご利用者は関係性が出来ており、今後も見守って行きたいです。

■グループホームゆづるの杜：高澤智子さん

・25日に31のアイスクリームパーティを行いました。皆さんにお好きなアイスを選んでいただきました。定番のバニラがお好きな方、見た目のきれいなアイスを選ばれた方、スタッフお勧めのアイスにチャレンジした方など、皆さんアイスを食べて喜ばれていました。今年の夏は蒸し暑い日が続いていますが、楽しみを持ちながら乗り切りたいと思います！

■グループホームゆかりの杜：加藤知佐さん

・Iさん、8/1日ご逝去されました。7/29日から食が細くなり30日横浜のご家族へ連絡、31日午後から面会されあっという間の出来事でした。ご家族がいらっしゃった際はお話できなくなっていましたが一筋の涙を流されていました。ご家族に看取られながら旅立たれたこと、Jさんも安心されたのだと思います。穏やかな表情でした。

■杜の家ふたば：平澤文さん

・７月２０日にプチ夏祭りを開催。皆さんでスイカを囲み、スイカ割りを実施しています。男性陣が代わるがわるチャレンジし、無事にスイカが割れたところで、会食会となりました。今回スイカの値段が高かったため１個でのスイカ割りでしたが、また来月もしたいという声も聞かれております。

■デイサービス悠々：梅村卓也さん

・6月28日ご利用されている方で昔お茶の先生をしていた方で、数か月前からお茶を皆さんにたてられればとお話しをしておりました。ご本人が茶筅などご持参して頂き、優雅な音楽の元皆さんに御手前をご披露して頂きました。お茶の流派は表、裏とある様で、その流れを他の方にお話しされ皆さんとても勉強になりました。

またお茶菓子は皆さんで作り、美味しく召し上がっておりました。ただお茶を入れるのではなく、その意味を教えて頂き学ぶ事が多い機会となりました。

■グループホームいずみの杜：大﨑雅之さん

・7/31に金魚すくいのゲームを行いました。暑い毎日が続いていますが、皆さん『涼』を感じられながらひと時を過ごされました。

ホームの玄関で収穫したブラックベリーを使ったおやつ作りも、まだまだ続いています。

■デイサービスみやぎの杜：髙橋美也子さん

やっと夏になったような、夏本番という感じの天気になり、午後からはかき氷をお出しすることが多いみやぎの杜です。色んなフレーバーを用意しているので、食べたい方はぜひお立ち寄りください。

いつもニコニコしていて、全くわがままを言ってくれないIさん。好きな食べ物を聞いても『何でも出されたものを食べる』どこか行きたい所はないか聞いても、『どこもないよ～』と笑顔で答えられます。かき氷のシロップは何がいいか皆さんに聞いても、『何でもいいよ』『あんた決めたのでいいよ』と。　加藤さんが、そうじゃなくて、Iさんの好きなの選んで～と話したら、やっと『じゃあ・・・ぶどう！』と。それを聞いた加藤さんが『そうこなくっちゃ！！！』と一番うれしそうでした。いつも家族が作ったご飯を食べ、みんなに合わせて過ごしているIさん。先日お誕生日でしたので、フォトフレームをプレゼントしたらすごく喜んでくれたので、何かして欲しいこと、一緒に行きたい所ないか聞いても・・・『どこもない。』と・・・私たちはIさんのわがままが聞きたいのに・・・

いつかIさんの『あれやりたい』を一緒に叶えられたらいいなぁと思います。

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・今週は職員、ご利用者の皆さんとAEDの訓練を行いました。「そんな怖い事の訓練は嫌だよ」と不安げな様子も見られましたが「でも、いつ何が起きるか分からないからね！」と職員1人がホールに横たわり、「大丈夫ですか！？意識なし！呼吸無し！」と実際の場面を想定しながら、誰が救急車を呼ぶか、AEDを持ってくるか、ADEの場所はみんな周知しているか、パットを貼る場所や、貴金属類は身に着けていないか、心臓マッサージのリズム、改めて確認する機会となりました。もちとりぞうさんもですが、いつ使うか分からない場面では皆がどれだけ冷静に対応できるかが大事であり、そのための日頃からの訓練はとっさの時の心のお守りのようなものであると感じました。

■介護老人保健施設さくらの杜：佐藤恵美子さん

・各ユニット感染対策に注意しながらイベントを開催しています。焼きそばイベント・カレーイベント・七夕ゼリーイベント・かき氷イベント利用者さんも夏を「やっぱり夏はこれだな～」と食べられていました。短冊には利用者さんの願いが書かれており、短冊の願いを職員と利用者さんで一つずつ形にできればと思います。

■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・コロナの感染拡大に不安を感じる中、いつものように台所に立って下さる方、立たずとも袋から食材を取り出してくださる方、おかずを盛り付けて下さる方、この当たり前の日常を有難く感じます。ご利用者さんとどら焼きを作ったり、七夕の短冊に願い事を書いたり、そのような時間を大切にしたいと思います。

■杜の家いちい：名取直保美さん

・７月には２回コホートを行いました。１回目の時は、通所サービスの利用者さんが在宅でどう過ごされ、何を必要とされているか、意向の聞き取りや対応が後手に回ってしまいましたが、２回目は清潔保持や食事準備、服薬確認など、必要とされる事を伺って、限りある職員で訪問する事ができました。一方、「大丈夫です」とお話頂いた家族さんも中にはおり、通所サービスが再開すると「一週間が限界だった」と疲労が残った家族さんもおり、今後の対応方法にもっと家族さんにも詳しく意向を伺っていく備えも必要と感じました。

■グループホームはごうの杜：大﨑美智子さん

・夏を感じる設えを、わかばユニットとこがねユニットにて、ご入居者のみなさんと一緒に作成しております。出来上がった作品を、食堂に掲示していますが、「あら～これ誰が作ったのかしらね～。」と、笑顔で職員に話掛けられるSさん。「これは、職人技が光るSさんが手掛けたものですかね～」とお答えすると、「大正解～」と、満面な笑みで応えて下さいました。さっきまで、自席でうとうとされていたKさんも、笑い声につられて笑われており、コロナ禍ではあっても、時間はゆっくりと歩みを止めることなく流れているのだと感じた瞬間でした。